

安達太良山、筆山下登山道で今年七回目の整備作業を実施した。このルートは「峰ノ辻」から、「ころがね小屋」を通らずに、「勢至平分岐」に出られる近道だが、

大部分の登山者は「ころがね小屋」を目指すため、利用者は少なかった。現在「ころがね小屋」は改修工事で休業中。



8時9分、奥岳出発

十月二十三日(日)

筆山下登山道整備作業  
報告編集部

第420号  
発行所  
郡山市喜久田町  
あだたら山の会  
編集部

●編集部連絡先
二本松市郭内1-5-5
0243(22)4245
Fax可
渡辺正



13時57分、えぐれ個所対策の迂回路作り



13時24分、段差対策の階段

峰ノ辻間は平日通行止め  
(土日休日は通行できる)。  
奥岳から勢至平分岐まで山頂

目指す場合 必ずこの「筆山下登山道」を利用する事になる。二十三日は平日の工事中。それでも平日とは思えない程の登山者が訪れた。このコース、火山灰の線管埋設工事で作業車が

工事中。それでも平日とは月曜日、勢至平分岐では「電

粘土質の土壤で、簡単に段



9時46分、勢至平分岐に着いた会員、工事写真、左下の石は「風ホレ石」



14時17分、勢至平分岐近くで、段差解消作業



9時46分、勢至平分岐の先、通行止め



9時43分、勢至平分岐の工事車両

差しきれが生じる。今回、段差の大きい個所四箇所程度には土嚢袋で階段設置し、えぐれの酷い個所二箇所程度には脇道作った。利用

いて、感謝述べていた。

※※ 下山途中に、植物に詳しい口口さんの話、「今

林の中見ると、黄色い葉つ

ばの木が見える、コシアブラの木だ、今あの木観えておけば来年、探すときとても有利だ」。

者は地元山岳会の仕事と聞

いて、コシアブ

十月十二日(木)

トレーニング兼ねて、  
(僧悟山) 笹平刈払い  
報告 □□□□□



口口さん、背景は鉄山



口口さん、背景は箕輪山

県の振興局から、トレランの後の登山道の様子を見てきて欲しいとの要請が有ったこと、ボイラー故障で臨時休業中であること、先月の僧悟台ルート整備が雨で中止になり気になつてのこと、少し体に負荷をかけてみたくなつたこと、等々の理由で訓練生とトレランを兼ね笹平付近の刈払いに出かけた。

十二日、七時三十分、塩沢スキーキャンプ場、リ七時四十五分発、気合とは裏腹に急坂で息が切れてどうしようもなく、九時三十分見晴岩(こんなにかかったのは初めて)。十一時、峠、紅葉がそこそこ見頃なので二人で大休止して、おやつ、と写真撮り。そのせいで十二時二十

分、笹平分岐着。二十分ほどでの昼食タイム。十二時四十五分、刈払い開始。縦走路は笹の被りも少なく二十分ほどで切り上げ、分岐から雪渓迄の刈払いに移り、二回給油して作業を続け十五時、予定の雪渓上部まで刈払い終了。

十五時十三分、下山開始。見晴岩から一三〇mほど下ったあたりからヘッドランプ点灯し、安全第一で慎重に下降。十八時、真っ暗の中スキーヤーたちは男性二人。紅葉は一場下山でした。途中で会ったのは女性一人。紅葉は航測(株)。ロープウェイ人程が参加した。配布された資料の発行元は「アジア

奥岳集合八時半、二十五人程が参加した。配布された資料のとおり八十%ほどの画像のところは綺麗でした。やっぱ笹平作業は疲れました。やつば笹平作業は疲れました。結局は掘切つ

ついての質問があった。はつきりした答え誰も出さないので、私が割り込んで、いきなり「引っ張り始めたのは岳の人、その真似をして当会が数年間のうちに環境省職員と一緒に始めたのは岳の人、そ

の根元から伐採するように、石楠花に良くない影響があるから」と言う事だった。当会はそれで、そのようにして、今に至っている。今又引っ張っているのを見たが、誰がやっているかは判らぬ」と話した。八重白山石楠花の敷ボイントでは、登山道整備事業で設置された飛び石、南側からの植物が被って利用できず、登山道北側に広がっている木

について市職員が質問し、環境省職員は伐採して良い、と答えていた。私は、ここは八重白山石楠花のボ

イントであることを話し、伐採の時は気を付けるようとに付け加えた。

十一時半、今日の最終地点、「大雪田の登り坂」、ガイドで二回目の休憩を取る山頂下水平道への登り、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

袋、北側からの藪が登山道に侵入し、藪が被ざり、意味が無くなってしまって

いた。このような元の道が、広がってきた藪に「押

され」狭くなったり、や

ぶの反対側に広がったりして

いる場所は多い。当会の

土嚢袋の設置は二〇二一年十一月五日の薬師岳登山道

整備(会報三九七号)、この

時、Kōkōさんの指示で「浸食

コントロールマット」残骸の排除も行い、二袋分集め

た。

当会が設置した土嚢袋、

三年経過して、一部ボロボ

ロとなつたものもあり、回

収して別の長方形の土嚢袋

に取り替えられた。プラス

チックは使われていないと

いう。ただ前の土嚢袋と同じ場所に置いていた。北側

からの藪の被ざりを意識していない。これではダメと言つて、被ざっていた灌木

を伐採して貰つた。まだまだ被ざりは解消されていないので、同じ事だ。経験不

足だ。

仙女平分岐では、ポール

とトラロープで、道狭める

各登山団体が、それぞれの

事が行われた、さて、どう

なるか、余り意味があると

は思え無いか。このよう

にと付け加えた。

十一時半、今日の最終地

、「大雪田の登り坂」、

ガイドで二回目の休憩を

取る山頂下水平道への登

り」、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

袋、北側からの藪が登山道

に侵入し、藪が被ざり、

意味が無くなってしまって

いた。このような元の道

が、広がってきた藪に「押

され」狭くなったり、や

ぶの反対側に広がったりして

いる場所は多い。当会の

土嚢袋の設置は二〇二一年十一月五日の薬師岳登山道

整備(会報三九七号)、この

時、Kōkōさんの指示で「浸食

コントロールマット」残骸

の排除も行い、二袋分集め

た。

当会が設置した土嚢袋、

三年経過して、一部ボロボ

ロとなつたものもあり、回

収して別の長方形の土嚢袋

に取り替えられた。プラス

チックは使われていないと

いう。ただ前の土嚢袋と同じ場所に置いていた。北側

からの藪の被ざりを意識していない。これではダメと言つて、被ざっていた灌木

を伐採して貰つた。まだまだ被ざりは解消されていないので、同じ事だ。経験不

足だ。

仙女平分岐では、ポール

とトラロープで、道狭める

各登山団体が、それぞれの

事が行われた、さて、どう

なるか、余り意味があると

は思え無いか。このよう

にと付け加えた。

十一時半、今日の最終地

、「大雪田の登り坂」、

ガイドで二回目の休憩を

取る山頂下水平道への登

り」、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

袋、北側からの藪が登山道

に侵入し、藪が被ざり、

意味が無くなってしまって

いた。このような元の道

が、広がってきた藪に「押

され」狭くなったり、や

ぶの反対側に広がったりして

いる場所は多い。当会の

土嚢袋の設置は二〇二一年十一月五日の薬師岳登山道

整備(会報三九七号)、この

時、Kōkōさんの指示で「浸食

コントロールマット」残骸

の排除も行い、二袋分集め

た。

当会が設置した土嚢袋、

三年経過して、一部ボロボ

ロとなつたものもあり、回

収して別の長方形の土嚢袋

に取り替えられた。プラス

チックは使われていないと

いう。ただ前の土嚢袋と同じ場所に置いていた。北側

からの藪の被ざりを意識していない。これではダメと言つて、被ざっていた灌木

を伐採して貰つた。まだまだ被ざりは解消されていないので、同じ事だ。経験不

足だ。

仙女平分岐では、ポール

とトラロープで、道狭める

各登山団体が、それぞれの

事が行われた、さて、どう

なるか、余り意味があると

は思え無いか。このよう

にと付け加えた。

十一時半、今日の最終地

、「大雪田の登り坂」、

ガイドで二回目の休憩を

取る山頂下水平道への登

り」、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

袋、北側からの藪が登山道

に侵入し、藪が被ざり、

意味が無くなってしまって

いた。このような元の道

が、広がってきた藪に「押

され」狭くなったり、や

ぶの反対側に広がったりして

いる場所は多い。当会の

土嚢袋の設置は二〇二一年十一月五日の薬師岳登山道

整備(会報三九七号)、この

時、Kōkōさんの指示で「浸食

コントロールマット」残骸

の排除も行い、二袋分集め

た。

当会が設置した土嚢袋、

三年経過して、一部ボロボ

ロとなつたものもあり、回

収して別の長方形の土嚢袋

に取り替えられた。プラス

チックは使われていないと

いう。ただ前の土嚢袋と同じ場所に置いていた。北側

からの藪の被ざりを意識していない。これではダメと言つて、被ざっていた灌木

を伐採して貰つた。まだまだ被ざりは解消されていないので、同じ事だ。経験不

足だ。

仙女平分岐では、ポール

とトラロープで、道狭める

各登山団体が、それぞれの

事が行われた、さて、どう

なるか、余り意味があると

は思え無いか。このよう

にと付け加えた。

十一時半、今日の最終地

、「大雪田の登り坂」、

ガイドで二回目の休憩を

取る山頂下水平道への登

り」、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

袋、北側からの藪が登山道

に侵入し、藪が被ざり、

意味が無くなってしまって

いた。このような元の道

が、広がってきた藪に「押

され」狭くなったり、や

ぶの反対側に広がったりして

いる場所は多い。当会の

土嚢袋の設置は二〇二一年十一月五日の薬師岳登山道

整備(会報三九七号)、この

時、Kōkōさんの指示で「浸食

コントロールマット」残骸

の排除も行い、二袋分集め

た。

当会が設置した土嚢袋、

三年経過して、一部ボロボ

ロとなつたものもあり、回

収して別の長方形の土嚢袋

に取り替えられた。プラス

チックは使われていないと

いう。ただ前の土嚢袋と同じ場所に置いていた。北側

からの藪の被ざりを意識していない。これではダメと言つて、被ざっていた灌木

を伐採して貰つた。まだまだ被ざりは解消されていないので、同じ事だ。経験不

足だ。

仙女平分岐では、ポール

とトラロープで、道狭める

各登山団体が、それぞれの

事が行われた、さて、どう

なるか、余り意味があると

は思え無いか。このよう

にと付け加えた。

十一時半、今日の最終地

、「大雪田の登り坂」、

ガイドで二回目の休憩を

取る山頂下水平道への登

り」、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

袋、北側からの藪が登山道

に侵入し、藪が被ざり、

意味が無くなてしまって

いた。このような元の道

が、広がってきた藪に「押

され」狭くなったり、や

ぶの反対側に広がったりして

いる場所は多い。当会の

土嚢袋の設置は二〇二一年十一月五日の薬師岳登山道

整備(会報三九七号)、この

時、Kōkōさんの指示で「浸食

コントロールマット」残骸

の排除も行い、二袋分集め

た。

当会が設置した土嚢袋、

三年経過して、一部ボロボ

ロとなつたものもあり、回

収して別の長方形の土嚢袋

に取り替えられた。プラス

チックは使われていないと

いう。ただ前の土嚢袋と同じ場所に置いていた。北側からの藪の被ざりを意識していない。これではダメと言つて、被ざっていた灌木を伐採して貰つた。まだまだ被ざりは解消されていないので、同じ事だ。経験不足だ。

仙女平分岐では、ポールとトラロープで、道狭める各登山団体が、それぞれの事が行われた、さて、どうなるか、余り意味があると

は思え無いか。このよう

にと付け加えた。

十一時半、今日の最終地

、「大雪田の登り坂」、

ガイドで二回目の休憩を

取る山頂下水平道への登

り」、で昼食。下り道、仙

女平分岐、当会が置いた土

六十五周年記念登山「立山」

ようでした  
バスは急  
り安全運転  
中で立山の  
し、立山信

帰途も予定より早く、解説の挨拶でも無事の帰還に安堵した思いが伝わった。本当に世話になりました。

分。山頂から安積平野、阿  
武隈山系の山並み、安達太  
良、吾妻、磐梯、猪苗代湖  
山含いの山並み、二岐山、  
遠く那須連峰など眺望を樂  
しめ、更に山並みとなり、豊

て終わった十月十二日妻とスカイラインに行く。浄土平や他の駐車場は満杯。新聞で浄土平近辺紅葉見頃の報道に誘われたのだろう、

あだたら山の会、創立六十五周年記念登山立山登山に参加した。年齢のことともあつたので中級コースに参加する予定だったが、以前にも登った経験もあり、あの絶景を思い出し特別コースに変更した。足腰に不安があるので、皆さんに迷惑をかけないように心がけて参加した。

前田の山荘からの夕日を見て、明日は快晴と願つて休んだ。

一つない快晴でした。勇心を抑えながら一步一歩足元を確認しながら、急いで足場の悪い道だ。一ノ越に立つと風もなく快晴でした。目指す雄山は石で積み上げたような山で気持ちに不安もあった。靴のひもを少し緩め、しっかりと足場を確認しながらストックも頼りになりました。雄山に立ち今来た道を帰るのかと思うとイヤになりました。特別コースに変更したり、雲もなく白山や笠ヶ岳、槍ヶ岳、富士山、八ヶ岳、鹿島槍、白馬まで三百六十度の絶景でした。日本百名山を一望できましたが「あの山は?」と聞かれて返事は出来なかった。尾根の向こうに劍岳が鋭く尖った山々

山荘に着くと別隊も無事下山していた。入浴後は反省会が始まって。私は疲れで美味しいはずのビールや酒も進まなかった。たぶん夜は高いいびきで皆さんに迷惑をかけたと思うが、寝てからることは責任を持ちません。

何時もの仲間と朝七時三十分二本松を出発。今が盛りの彼岸花、稲刈最盛期を車窓より見、滝登山口へ。平日なので私達の車だけかと思っていたら、一台の車が駐車していた。滝登山口九時出発、一人の男性が

下山して來た。山頂の天気を聞くと、風が強いとの事。朝六時前に入山したとの事。九時三十五分、熱海から合流点で休憩。休憩どころでない、栗拾いが本気。急登の道、休憩を取りながらの登り。山頂へ十一時十

A group of six people, including adults and children, are standing on a rocky mountain peak. They are all wearing outdoor clothing like jackets and hats. In the center of the group is a tall, rectangular stone monument with vertical Chinese characters. The date '2023/10/03' is visible in the bottom right corner of the photo.

持久力精神力、  
仲間との絆を目的に安積山へ  
報告

分。山頂から安積平野、阿武隈山系の山並み、安達太良、吾妻、磐梯、猪苗代湖山合いの山並み、二岐山、遠く那須連峰など眺望を楽しみ、車座になり楽しい昼食時間。山頂に着いた時は誰もいなかつたが、一人二人と来て七、八人は来た様だ。

十二時半下山。途中山ブドウを取つたり、登りに栗拾いした所で又栗拾い。下山して来た一人の男性も一緒に栗拾い。駐車場へ二時十五分無事下山。喜久田本宮を通り、友を自宅まで送る。妻がスーパーで買ひなさい山談義、楽しい山行であった。



ハ取の い玉のはかの米り、付書一 へは

◆登山道整備のいきさつ。  
実は、県の安達太良山登山道整備は平成十四（二〇〇二）年だ。平成十三年に設立早々の環境省が始めた「日本百名山登山道整備事業」、各県に対象登山道の提示を求めたが、福島県は一件も提示しなかった。

当時市会議員だった、故□□□当会顧問が、市を通じて県に働きかけ、何とか安達太良山も対象に加えられたのだ。忘れないでおきましょう。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記

四一〇号



# 紅葉のスカイライン

報告

編集後記